

# DENSAN

## ケーブルウインチミニ 取扱説明書

### DP-005MA

#### ■各部名称

**⚠警告**

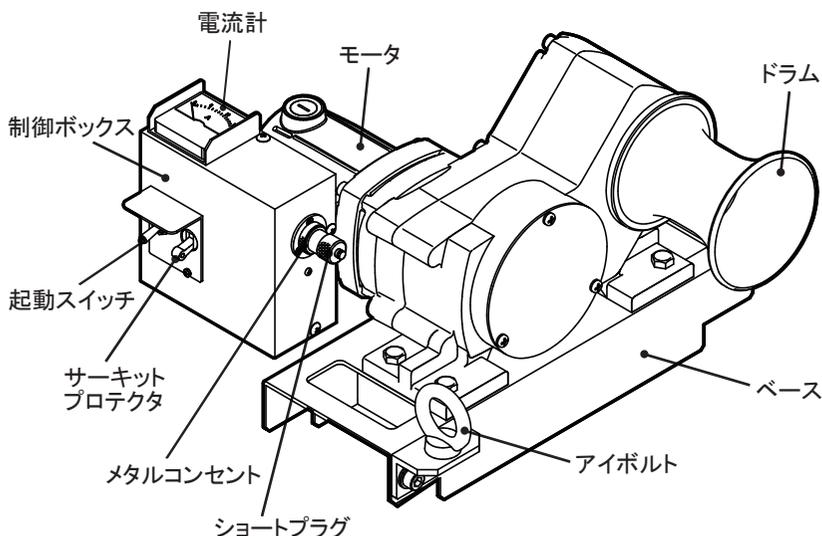
#### ケーブルウインチ使用上の注意

ケーブルウインチの運転は、下記の特別教育修了者が行ってください。

適用法規：安全衛生規則第36条 動力により駆動される巻き上げ機の特別教育の実施

参考書：ウインチ運転者必携

発行：建設業労働災害防止協会等



**⚠警告**

お読みになった後は、使用者がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## ジェフコム株式会社

# はじめに

この度は、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
この取扱説明書には、本製品の取扱い方法や、注意事項などの説明が記載されて  
おります。ご使用前にこの取扱説明書を充分にお読みいただき、正しくお使いい  
ただけますようお願いいたします。  
尚、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

## ■ 注意文の **⚠警告** **⚠注意** **[注]** の意味について

弊社では、ご使用上の注意事項は、**⚠警告** **⚠注意** **[注]** に区分していますが、  
それぞれ次の意味を表します。

**⚠警告**: 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が  
想定される内容のご注意。

**⚠注意**: 誤った取扱いをしたときに、使用者が障害を負う可能性が想定される  
内容および物的障害のみの発生が想定される内容のご注意。

**[注]**: 製品及び付属品の取扱い等に関する重要なご注意。

※注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。  
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## **⚠警告**

ケーブルウインチは、巻き上げ機の特別教育を受けた人が運転して下さい。  
労働安全衛生規則（第36条 動力により駆動される巻き上げ機の特別教育の実施）

---

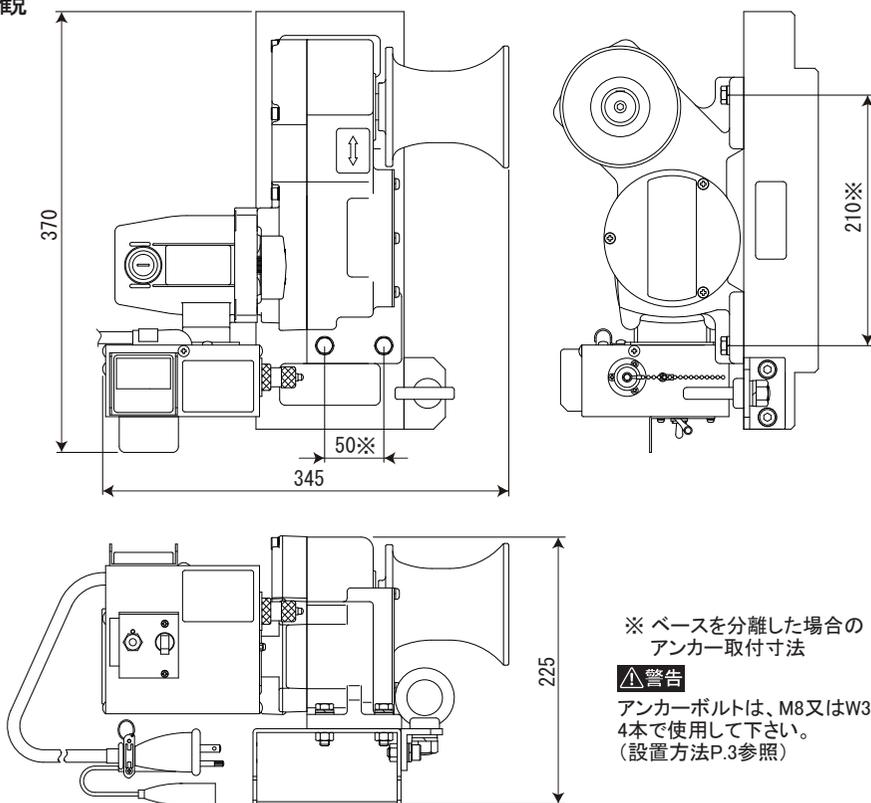
## ■ 目次

仕様・標準付属品	2
安全上の注意事項	3
使用上の注意事項	4
操作方法	5
継ぎコードについて	6
保守点検	6
アフターサービスについて	7

## ■仕様

名称	ケーブルウインチミニ												
型式	DP-005MA												
用途	ケーブル延線工事の入線用(ワイヤー又は、ロープの巻取り)												
外形寸法/質量	370L × 345W × 225H(mm) / 13kg												
モータ/消費電力	AC100V 50/60Hz / 1050W												
巻取り能力	<table border="1"> <tr> <td>負荷電流[A]</td> <td>7.5</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>引張力[kN]</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>引張速度[m/min]</td> <td>6.5</td> <td>6</td> <td>5.5</td> </tr> </table>	負荷電流[A]	7.5	9	10	引張力[kN]	3	4	5	引張速度[m/min]	6.5	6	5.5
負荷電流[A]	7.5	9	10										
引張力[kN]	3	4	5										
引張速度[m/min]	6.5	6	5.5										

## 外観



## ■標準付属品

・取扱説明書 ×1

・フットスイッチ ×1

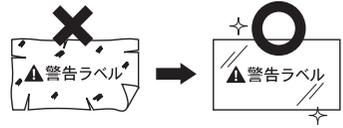
★仕様・外観等は、改良のため予告なく変更する場合があります。

# 安全上の注意事項

## 警告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

2. 本機貼り付けの警告ラベルについて。  
ラベルが読みにくくなったり、剥がれそうになった場合はすぐに貼り替えて修復してください。  
新しいものはメーカーへご請求ください。



3. 作業場は、いつもきれいに保ってください。  
ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。

4. 作業場の周囲状況も考慮してください。  
● 電動工具は雨中で使用したり、湿った場所や濡れた場所で使用しないでください。感電事故のもととなります。  
● 作業場は十分に明るくしてください。  
● 引火や爆発の恐れのある物質の近くでの作業は危険ですので、絶対にさけてください。



5. 感電に注意。  
アースされている物、(例えばパイプ、暖房器具などの外枠)に身体を接触させないようにしてください。

6. 子供など、作業者以外近づけないでください。

7. 能力以上の負荷は、絶対にかけないでください。

8. コードの扱いについて。  
● コードを乱暴に扱わないでください。  
● コンセントから抜くときは、必ずプラグを持って引っ張ってください。  
● コードを熱、油、鋭利なものなどに近づけないでください。  
● リールに巻いた状態や、折り曲げた状態での使用は避けてください。



感電注意

9. 無理のない姿勢で、きちんとした服装で作業を行ってください。

10. 使用前、必ず部品等が損傷したものがないか点検してください。  
部品等が破損したら、純正部品と交換をしてください。



11. 使用前、作動部分の位置調整及び、締め付け状態、取り付け状態等、運転に影響を及ぼす全ての箇所異常がないか確認してください。

12. 次の場合はメインスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。  
● 使用しない場合、又は修理する場合。  
● 部品交換の場合。  
● 使用のため準備中の場合。

# 使用上の注意事項

## 警告

1. 本機は、ケーブル入線用ウインチです。他の用途には使用しないで下さい。
  - ケーブルウインチは、巻き上げ機の特別教育を受けた人が運転して下さい。  
労働安全衛生規則(第36条 動力により駆動される巻き上げ機の特別教育の実施)

2. 必ず接地(アース)してご使用ください。

- アースクリップ、アース線は異常が無いことを確認してからご使用ください。

- アース極付きコンセント①の場合には、プラグのアースピンがロックされていることを確認してください。

アースピンが途中で止まっている場合は、一度アースピンを指で押してください。アースピンは自動的にロックされます。

- アース極無しコンセント②の場合には、プラグのアースピンを左に回しながら押し、アースピンが途中で止まります。

コンセントに差し込むと同時にアースピンは収納されます。外装のアースクリップでアースを接続して下さい。

- 定格感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下の電流動作型漏電遮断機の設置されている電源でお使いになる場合でも安全の為、アースをお勧めします。

- アース工事(アース極を地中に埋めアース線を接続する等)を行うには資格が必要です。

その際にはお近くの電気工事店にご相談ください。

- 漏電遮断器やアースについては次の法規がありますので参照してください。

労働安全衛生規則(第333条 漏電による感電の防止、第334条 適用除外)

電気設備の技術基準(第18条:設置工事の種類、第28条:機械器具の鉄台および外箱の接地、第41条:地絡遮断装置等の施設)

**警告** アース線をガス管に接続すると爆発の恐れがあります。絶対に接続しないでください。

3. ロープ及びワイヤーは作業容量に対し、十分安全性をもたせたものをご使用ください。
4. スイッチを“切”にしてドラムを停止させたとき、確実に停止するかどうか確認してください。停止しない場合は使用を中止し、点検を受けてください。
5. ロープ、ワイヤーは体、手足等に巻付けないようし、手を離せばロープが緩むようにしてください。
6. 荷物の吊り下げ、吊り上げ作業には使用しないでください。
7. 防水型ではありません。雨中での作業には使用しないでください。

## 設置方法について

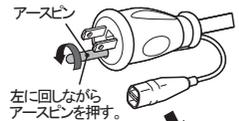
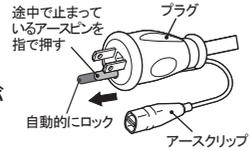
1. 本機を確実に固定する。

- 本機をアンカーボルト等により確実に固定し、十分安全を確認の上、作業を始めて下さい。
- アンカーボルト施工は、アンカーボルトの使用上の注意等を参照し、コンクリート強度を考慮して行って下さい。(アンカーボルトで固定の際は、本機からベースを取外して下さい。)
- アンカーボルトはM8又は、W3/8を4本使用して下さい。
- 作業中は、時々ゆるみを点検して下さい。
- ケーブルラック上に固定する場合は、ラックの耐荷重を考慮して運転して下さい。

2. 荷重側には入らない。

巻取ドラムより先のロープには張力が発生しています。

この間には入って作業をしないで下さい。ゆるんだりすると危険です。



## ■操作方法

1. ショートプラグ又は、フットスイッチを本体メタコンに差し込みます。  
※ショートプラグを外している状態では、運転できません。

2. 本機を確実に固定します。

3. 電源コードをコンセント(100V-15A)に差し込んでください。

4. 制御ボックスにあるサーキットプロテクタを”ON”にします。(図1)

5. 起動スイッチを正転側にします。(図1)

※通常は正転方向でご使用ください。

5-1. ショートプラグをご使用の場合

起動スイッチを正転側にするとドラムが回転を始めます。

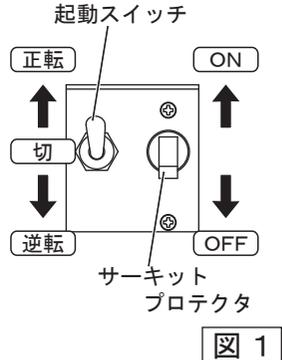
5-2. フットスイッチをご使用の場合

起動スイッチを正転側にします。

フットスイッチを踏み込みますと、ドラムが回転を始めます。

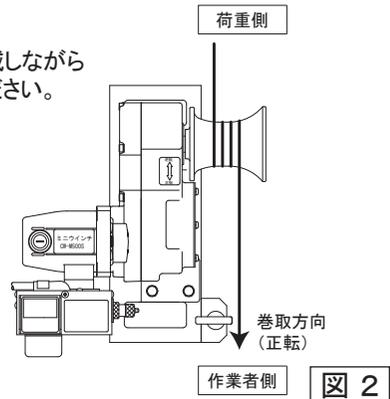
6. 巻取ドラムにロープ又はワイヤーを巻取ドラムの内側より外側に一列ずつ巻付けます。(図2)  
(ドラムは、ロープに摩擦を与え張力を発生させます。)

7. 張力はロープ又は、ワイヤーの引く力を作業側で加減しながら調整します。電流計の数値を確認しながら、作業してください。



### 注

- 過負荷状態で作業を続けるとサーキットプロテクタが”OFF”になり、モーターは停止します。  
そのときは負荷を取り去り再スタートしてください。
- 正転から逆転又は逆転から正転にされる場合はドラムが確実に停止してから、起動スイッチを切替えてください。



## 警告

- 正転よりロープの引っかかり解除等で逆転にした場合、スイッチを急激に”逆転”にしますと、作業側側のロープが急に巻き込まれ大変危険ですので、スイッチを加減しながら十分注意して作業を行ってください。
- 巻取ドラムには手等を近づけない。  
作業中、巻取ドラムにロープがかたく巻き付いています。手等を巻き込まれると危険ですのでふれないでください。
- 作業休止中は、本機アイボルト等にロープの引張側を結びつけておいてください。横引き中でもロープの伸びた分の張力がかかっています。ロープはゆるまないようにしておきます。
- 負荷を取る時は、作業側側のロープをゆっくりゆるめます。急にゆるめると、ロープが逆送され大変危険です。

## ■ 継ぎコードについて

- 電源が遠く延長コードを使用される場合には、十分な太さのコードをご使用ください。過度の延長や細線を使用すると電圧が低下する為に、モータ出力が弱くなり、本来の性能を発揮できないばかりでは無く、故障や事故の原因になりますので適正なコードをご使用ください。

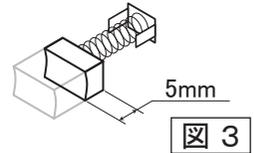
右表はコードの太さ(導体公称断面積)に対する最大長さの参考値を示します。

導体公称断面積	最大長さ(参考値)
1.25mm <sup>2</sup> (AWG16)	12m
2.00mm <sup>2</sup> (AWG14)	20m
3.50mm <sup>2</sup> (AWG12)	35m

## ■ 保守点検

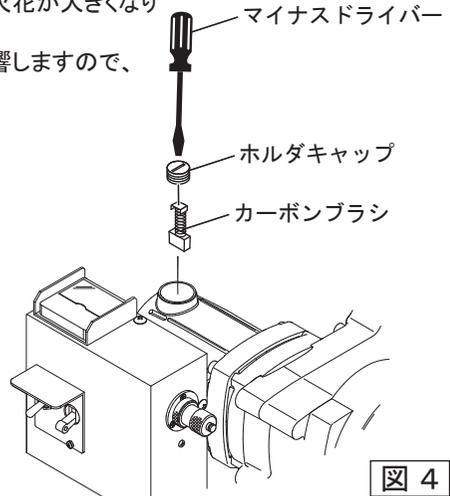
### カーボンブラシの交換

- カーボンブラシは作業時間100～150時間以上になった場合又は、カーボンブラシ長さが残り5mmまで摩耗した場合には新品と交換してください。(図3)
- 摩耗したカーボンブラシを使用し続けると整流火花が大きくなり故障の原因となります。
- カーボンブラシの材質は性能・寿命に大きく影響しますので、純正のカーボンブラシをご使用ください。



### 交換方法

- ①電源プラグをコンセントから抜いてあることを確認してください。
- ②モータ部後側2カ所のホルダキャップをマイナスドライバーで反時計方向に廻して外し、新しいカーボンブラシに取り換えてください。(図4)



## ■ 故障かな?と思ったら

次の項目を確認してください。

現象	原因	処置
モータが動かない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電源との接触不良</li> <li>・モータの故障</li> <li>・カーボンブラシの寿命</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電源を確認してください</li> <li>・修理を依頼してください</li> <li>・カーボンブラシを交換してください</li> </ul>
モータの力が弱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・延長コードが長すぎる</li> <li>・モータの故障</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適容量の延長コードを使用する</li> <li>・修理を依頼してください</li> </ul>
モータが熱くなる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過度に連続使用している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無負荷で回転させてから少し休ませて、モータが冷えてから使用してください</li> </ul>

## ■アフターサービスについて

部品のお求め、または故障その他、お困りの時はお買い求めの販売店、または最寄りのジェフコム(株)営業所にご連絡ください。

仕様・外観等は、改良のため予告なく変更する場合があります。

**ジェフコム株式会社**

〒579-8014 東大阪市中西切町3-13-16

ML1AJK